

唐桑の海ってすてきだね！ ～からくわたんけんで見つけたよ～

教科：保育活動

学年：年少児～年長児

1 はじめに

唐桑幼稚園がある気仙沼市唐桑町は山や海に囲まれた自然豊かな地域である。幼稚園から歩いて行ける距離に馬場の浜漁港があり、身近に海とふれあうことができる。

園児は24名で、異年齢児とかかわりながら元気いっぱい遊ぶ姿で見られる。今年度の園の研究では、“からくわたんけん”として地域に出向き、様々なものに触れながらたくさん遊び、そこで働く人や海にかかわる人との交流を行ってきた。そのような直接体験を通して得た気付きや学びを遊びに生かすことで、地域のよさや唐桑の海に対する親しみの気持ちを育てていきたいと考えた。

2 ねらい

園児にとって身近な環境である海での体験を重ねる中で、その素晴らしさや豊かさに気づかせ、将来もこの環境を大切にしていこうとする幼児を育成する。めざす幼児の姿としては、以下の二点である。

- ・海の素晴らしさを感じ、積極的にかかわろうとする幼児
- ・海で発見したものを、体験したことを生活の中で生かしていこうとする幼児として、実践を進めてきた。



3 学習活動の概要

唐桑幼稚園では、以下の二点を視点として、海洋教育に取り組んできた。

- (1) 海的环境を生かした体験活動の設定
- (2) 園内での振り返り活動（遊び）の設定

4 実践計画

日時	活動名	ねらい	内容
6月	馬場の浜遊び (全園児)	<ul style="list-style-type: none">・身近な海に関心もち、海での遊びを知る。・自然物に興味をもったり、海で遊ぶことを楽しんだりする。	<ul style="list-style-type: none">・1年生と馬場の浜探検をしよう。年中・年少組に教えてあげよう(年長児) 1年生に手紙を書こう。(年長児)・みんなで馬場の浜に行ってみよう。・見つけたこと、不思議に思ったことを調べてみよう。・馬場の浜ごっこ、自然物を使った遊び等
7月	唐桑漁協加工・出荷センター交流 (全園児)	<ul style="list-style-type: none">・海の生き物とのふれあいを楽しんだり、働く人(地域の人)に親しみをもったりする。・体験したことを様々な方法で表現しようとする。	<ul style="list-style-type: none">・唐桑漁協出荷センター見学をしよう。・海の生き物とふれあいを楽しもう。・不思議に思ったことを海の達人(漁協職員)に聞いてみよう。・漁協ごっこを楽しもう。(体験したことをごっこ遊びに生かす)・海の生き物の絵画表現、廃品を使った製作等

9月	さかなの駅交流	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷された海産物に興味をもち、海をより身近に感じる。 ・見つけたことや気づいたことを伝え合いながら、遊びに生かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さかなの駅見学をしよう。 ・働く人の様子を見よう。 ・不思議に思ったことを聞いてみよう。 ・さかなの駅ごっこを楽しもう。 (体験したことをごっこ遊びに生かす)
9月	“地域の海のもの”を食べてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でとれる食べ物のおいしさを知る。 ・保護者や地域の方とのふれあいを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の方と一緒に地域の食べ物を味わおう。 ・感じたことや気づいたことを伝え合おう。
◆体験活動後の振り返りとして <ul style="list-style-type: none"> ・見つけたこと、気づいたことを絵画で表現する。 ・体験したことを生かしたごっこ遊びの展開。 ・廃品を使った製作活動。 ・見つけたこと、気づいたことを様々な方法で表現する。 →保育参観日などの行事で発表 		◆地域の支援者・支援団体 <ul style="list-style-type: none"> ・唐桑漁協加工・出荷センター ・さかなの駅 	



5 今年度の実践

○海の体験1 (6月)

－馬場の浜遊び①－ ※対象：年長児（唐桑小学校1・2年生との活動）

・年長児が唐桑小学校の1・2年生と一緒に馬場の浜遊びを行った。初めは緊張している様子が見られたが、一緒に石や生き物探しをするうちに「これは何という生き物なの」などと、わからないことを小学生に質問する姿も見られた。

－馬場の浜遊び②－ ※対象：全園児

・年長児から馬場の浜遊びの話を知ったり、見つけたものを見せてもらったりしたことから、今度は全園児で馬場の浜に出かけた。海に足を入れたり、波と追いかけて遊んだりし、全身を使って海での遊びを楽しんだ。貝殻やシーグラス等を見つけてうれしそうにしている姿も見られた。

↓

幼児の変容

- ・年長児は馬場の浜遊びで小学生に優しくしてもらった経験から、年中・年少児に教えたり、手を引いてあげたりする姿が見られた。
- ・海で思いきり遊んだり、様々な生き物を見つけ、触れたりした楽しさから、唐桑の海に対する親しみの気持ちが高まった。また、園に戻るとすぐに図鑑を広げ、見たり触れたりしたものを調べるなど、海の生き物への関心も深まった。
- ・海での遊びを楽しむ中で海水の冷たさや塩辛さ、海藻のぬめり感、石の温かさなど五感を通して気付いたことを友だちと伝え合う姿が見られた。

○振り返り活動 －馬場の浜ごっこ－

・馬場の浜遊びを思い出し、気付いたことや思いを伝え合いながら“馬場の浜発見ずかん”を製作した。また、馬場の浜を保育室に再現しようと、身近にあるものを使って、魚介類や海藻、シーグラスなどを製作し、馬場の浜ごっこを楽しんだ。

↓

幼児の変容

- ・実際に海で遊んだ経験から様々な気付きを伝え合ったり、遊びに生かそうとしたりする姿が見られた。また、遊びの中で疑問に思ったことがあると“発見ずかん”を開いて調べるなど海への関心を示していた。
- ・保育室に再現した馬場の浜に裸足で入るなど、体験したことを再現しながら全身でごっこ遊びを楽しむ姿が見られた。ごっこ遊びを通して海への関心が高まり、「もっと海で遊びたい」という思いにつながった。

○海の体験2 (7月)

ー唐桑漁協加工・出荷センター交流ー ※対象：全園児

- ・唐桑漁協加工・出荷センター交流を行った。唐桑で獲れるウニやホタテに触れたり、カキやホタテの養殖いかだの作業の様子を見たりした。わからないことを漁協で働く“海の達人”に教えてもらおうと、「達人は海のことを何でも知っているんだね」などという声も聞かれた。



幼児の変容

- ・実際にウニやホタテを見たり触れたりしたことで、生き物の特徴、感触など様々なことに気付く姿が見られた。また、唐桑の海には栄養(プランクトン)が多く、おいしいカキやホタテが育つということを教わり、「唐桑の海ってすごいね」と話すなど、海への関心がより高まった。
- ・わからないことを漁協の人に質問し、教えてもらったことで、海で働く人に対する憧れや親しみの気持ちにつながった。



○振り返り活動 ー漁協ごっこー

- ・漁協での体験を振り返り、“漁協ごっこ”が始まった。年少組は魚になって遊び、年中組は養殖いかだやホタテ作りを楽しんだ。年長組では漁協の“海の達人”になりきり、出荷ごっこが展開された。



幼児の変容

- ・漁協での体験を振り返ると、「ホタテはパクパクしていたよ」「ホヤは、ばってんの方から水を吸うんだよ」などと気付いたことを伝え合いながら友だちとかかわって遊ぶ姿が多く見られるようになった。また、それらの気付きを漁協ごっこの中に生かしながら遊びを展開していた。
- ・海とかかわる体験を自分たちの遊びの中に取り入れたことで、より海を身近に感じ、唐桑の海やそこで獲れる生き物に対する関心を深めていた。



○海の体験3 (9月)

ーさかなの駅見学ー ※対象：全園児

- ・さかなの駅では漁協で見た海産物が売られている様子を見学した。たくさんの種類の魚が並んでいることに驚く子どもたちであった。また、マグロを解体する様子も見せていただき、目を丸くしてじっと見ている姿が印象的だった。



幼児の変容

- ・陳列された海産物を見ながらこれまでの活動を思い出し、「このホタテ、漁協にもあったよね」と、海と店とのつながりに気付く幼児の姿が見られた。
- ・イカをさばく様子やマグロを解体する様子を見学したり、実際に魚介類を買って試食したりしたことで、働く人への関心を深めるとともに、感謝の気持ちも芽生えてきた。



○振り返り活動 ーさかなの駅ごっこー

- ・さかなの駅見学での経験から各クラスで“さかなの駅ごっこ”が始まった。「唐桑のホタテが売っていたよ」「おさしみも作ろう」などと考えを出し合いながら遊びを広げていく姿が見られた。また、その後は園全体でのごっこ遊びに発展し、異年齢児や他園の友だちとのかかわりを楽しんだ。



幼児の変容

- ・さかなの駅で海産物が売られている様子を見たり、実際にイカやホタテを買って食べたりしたことで、お店の様子や海で獲れたもののおいしさを知ることができ、「今日のおすすめはどれですか」「おさしみにして食べるとおいしいですよ」などの会話が生まれ、食への関心も高まった。
- ・さかなの駅での経験をごっこ遊びに生かす中で、自分たちの生活に海が大きくかかわっていることに気付く年長児の姿もあり、海のすばらしさを感じることもつながっていた。

○海の体験4（2月）

—おさかな教室（唐桑の船頭さんから教えてもらおう）— ※対象：全園児

- ・地域に住む船頭さん（小山忠司さん）からサメやマグロの獲り方、市場の様子などを教えてもらった。実際にサメの歯を触ったり、漁具を見せてもらったりしたことで、興味をもって話を聞く姿が見られた。また、市場の様子を映像を通して知ることができた。年長児は「マグロはどうやって獲るんですか」「マグロはどこにたくさんいるんですか」などと次々に質問する姿が見られた。

↓

幼児の変容

- ・興味をもって次々に質問する年長児の姿から、海に対する関心の高さがうかがえた。また、夜に魚を水揚げする映像を見て、「みんなが寝ている間にもお仕事するんだね」などと海で働く人に関心を寄せている姿も見られた。
- ・講話の後、船頭さんに教えてもらったことを思い出しながら、友だちと魚の生態や漁師の仕事について、感じたり考えたりしたことを話す年長児の姿が見られた。また、自由遊びの中では“釣りごっこ”を楽しむ年中児の姿が見られた。釣りごっこに使うものを自分たちで製作して遊びに取り入れていた。年少児は普段楽しんでいる追いかけごっこを“サメごっこ”として楽しむ姿が見られた。このような幼児の姿から、海に関する体験が日常の幼児の遊びに生かされていることや、海に対する親しみの気持ちが高まっている様子が感じられた。

○実践の成果

- ・地域の海で全身を使って遊ぶ、様々な生き物に触れる、そこで育った海産物を食べるといった一連の活動を通し、幼児の心が大きく動かされた。また、そこでの体験は幼児の五感を刺激し、「海が大好き」という思いにつながり、幼児にとって地域の海がより身近なものになった。
- ・海での共通体験から得た様々な気付きや思いを伝え合い、友だちと協力して展開させたごっこ遊びでは、海で働く人への憧れや親しみの気持ちを深めることができた。

○次年度への課題

- ・今後も、発達段階に合わせたねらいや活動内容の検討、幼児の実態や興味に合わせた環境構成を行い、遊びを通して海に対する親しみの気持ちを育んでいきたい。

6 主な連携機関及び内容

- ・唐桑漁協加工・出荷センター：漁協見学、海で働く人との交流
- ・さかなの駅（市内の鮮魚店が集まる店舗）：さかなの駅見学、働く人との交流
- ・東京海洋大学三陸サテライト 小山忠司さん：講話（おさかな教室）
- ・気仙沼市立唐桑小学校：交流活動（馬場の浜散策など）



唐桑の海ってすてきだね！ ～からくわたんけんでみつけたよ～

[実践のねらい]

園児にとって身近な環境である、海での体験を重ねる中で、その素晴らしさや豊かさに気付かせ、将来もこの環境を守っていかうとする幼児を育成する。

○海洋教育を通してめざす幼児の姿

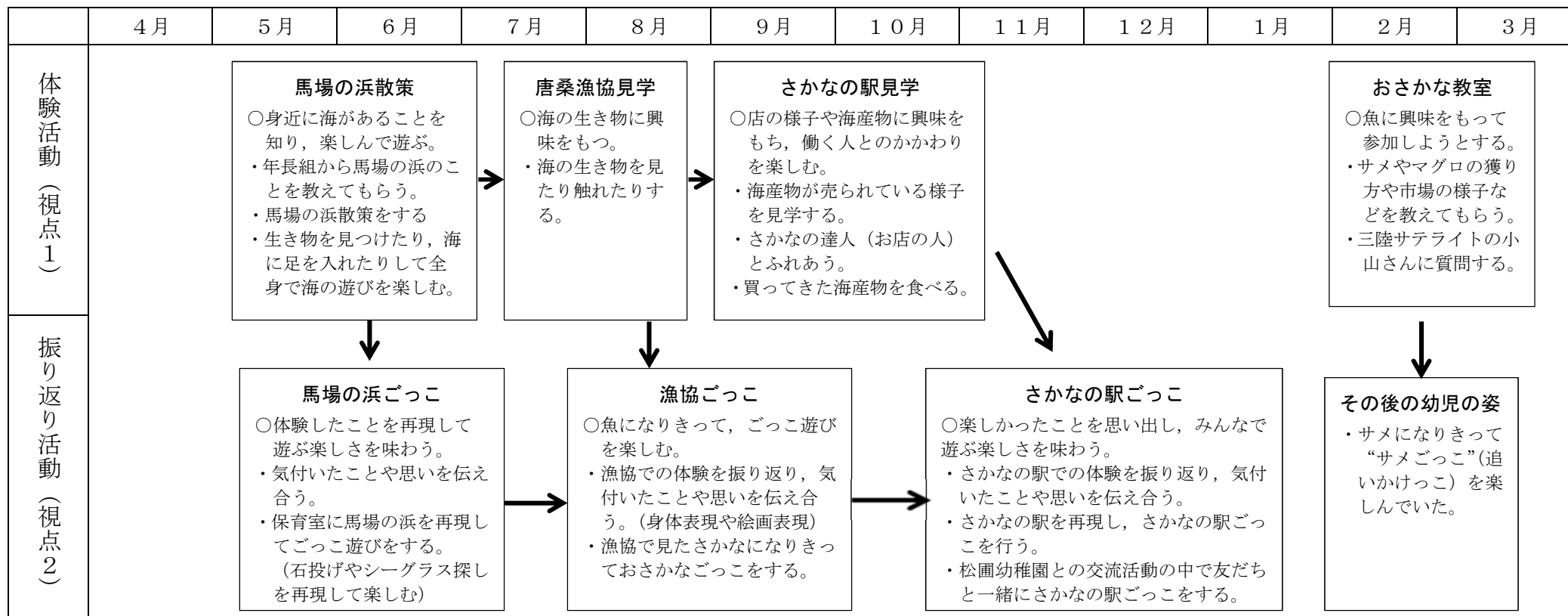
- ・海の素晴らしさを感じ、積極的にかかわろうとする幼児
- ・海で発見したものを、体験したことを生活の中で生かしていこうとする幼児

○実施教科等：保育活動

- 視点 (1) 海の世界を生かした体験活動の設定
 (2) 園内での振り返り活動（遊び）の設定

【主な連携機関と内容】

- ・唐桑漁協加工出荷センター：漁協見学
海で働く人との交流
- ・さかなの駅：さかなの駅見学
働く人との交流
- ・東京海洋大学三陸サテライト：講話（おさかな教室）
小山 忠司 さん
- ・気仙沼市立唐桑小学校：交流活動（馬場の浜散策）



唐桑の海ってすてきだね！ ～からくわたんけんでみつけたよ～

[実践のねらい]

園児にとって身近な環境である、海での体験を重ねる中で、その素晴らしさや豊かさに気付かせ、将来もこの環境を守っていこうとする幼児を育成する。

○海洋教育を通してめざす幼児の姿

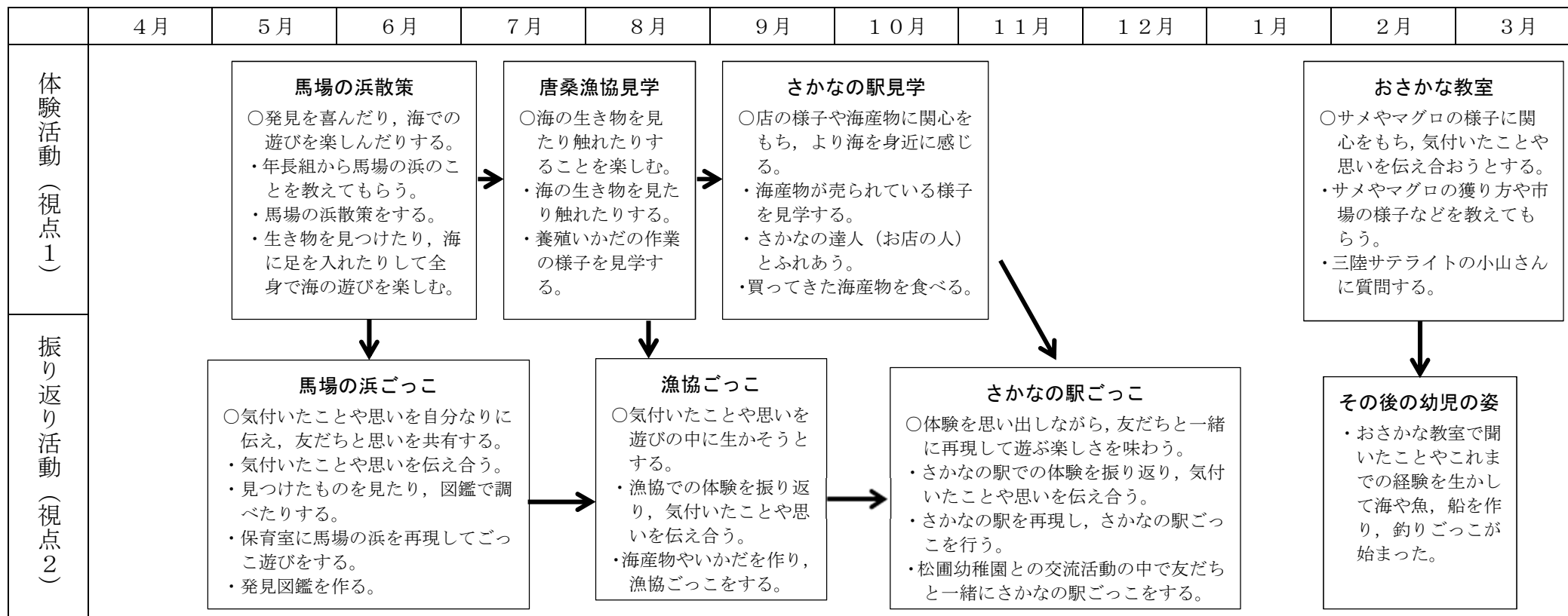
- ・海の素晴らしさを感じ、積極的にかかわろうとする幼児
- ・海で発見したものを、体験したことを生活の中で生かしていこうとする幼児

○実施教科等：保育活動

- ### ○視点
- (1) 海的环境を生かした体験活動の設定
 - (2) 園内での振り返り活動（遊び）の設定

【主な連携機関と内容】

- ・唐桑漁協加工出荷センター：漁協見学
海で働く人との交流
- ・さかなの駅：さかなの駅見学
働く人との交流
- ・東京海洋大学三陸サテライト：講話（おさかな教室）
小山 忠司 さん
- ・気仙沼市立唐桑小学校：交流活動（馬場の浜散策）



唐桑の海ってすてきだね！ ～からくわたんけんでみつけたよ～

[実践のねらい]

園児にとって身近な環境である、海での体験を重ねる中で、その素晴らしさや豊かさに気付かせ、将来もこの環境を守っていこうとする幼児を育成する。

○海洋教育を通してめざす幼児の姿

- ・海の素晴らしさを感じ、積極的にかかわろうとする幼児
- ・海で発見したものを、体験したことを生活の中で生かしていこうとする幼児

○実施教科等：保育活動

- 視点 (1) 海の世界を生かした体験活動の設定
 (2) 園内での振り返り活動（遊び）の設定

【主な連携機関と内容】

- ・唐桑漁協加工出荷センター：漁協見学
海で働く人との交流
- ・さかなの駅：さかなの駅見学
働く人との交流
- ・東京海洋大学三陸サテライト：講話（おさかな教室）
小山 忠司 さん
- ・気仙沼市立唐桑小学校：交流活動（馬場の浜散策）

